

# 社会保険労務士からの三方一両得だより

平成29年 4月20日 第91号

## 中国語勉強のセミナーに行きました

「ユダヤ人大富豪の教え」などのビジネス本の著者として有名な本田健さんと、中国語講師の陳氷雅さんのジョイントセミナーに行ってきました。中国語や英語などの効率的な勉強方法に関するものです。

別に中国語に興味はなかったのですが、セミナーの告知で「漢字を理解している日本人なら、筆談で中国語は簡単にマスターできる」という一言に惹かれて参加を決めました。本田さんも若い頃には英語の通訳をされていたため、英語の勉強方法も教えていただけるとのことで、わくわくしながら参加しました。



綺麗な方なのですが、非常に意思の強そうな雰囲気でした。

会場は250人が参加し満席。本田さんの英語勉強の仕方の説明、陳さんの中国語のミニ授業、本田さんと陳さんの外国語を学ぶことに関する対談の3部構成でした。中国語マスターのポイントは、複雑な発音は後回しにして、まずはなじみのある文字から中国語の仕組みを理解すること

だそうです。また、英語と中国語を同時進行で勉強することも勧められました。

シャープが台湾の会社を買収されるという時代になりました。確かに、世界の約1/4の人が中国語を話しているわけです。経済成長著しい中国、台湾、シンガポールの将来を考えると、中国語を理解することも必要だと思いました。

そもそも、旅行に行った時に英語が少し通じるだけでも嬉しいものです。もしも中国語も少しでも理解できていれば、海外での行動力はかなり向上しそうで楽しみですね。



草むらになりました。

先月畑に植えたジャガイモの種芋から芽が出てきました。ポテトチップスの販売休止など、世間ではジャガイモが不足しているようですが、とりあえず我が家に影響はなさそうです。

「不耕起栽培に挑戦！」と思って放置した畑の一面は、雑草が伸び放題になり完全に草むらのようになっています。とりあえず不耕起栽培の流儀に従い、草を抜いて、その場に積み上げておきました。

どうなることやら・・・

我が家の畑

## 初めての勤務先を辞める理由は？

毎年4月になると「今年の新入社員は〇〇型」と発表され、ニュースのトピックスの一つとなるのが恒例となりました。「何十万人もいる新卒者にレッテルを貼って決めつけるな！」と最近ではすっかり評判が悪くなっていますが、一応お知らせしておきます。

日本生産性本部によりますと、今年の新入社員のタイプは『ポケ GO 型(昨年大ヒットしたゲームのこと)』で、はじめは熱中して取り組むけれども、飽きやすい傾向も(早期離職)あるとのことでした。

最近の調査では、「初めての正社員勤務先を離職した理由」として、長時間労働、採用時に聞いた労働条件と現実とが異なることを挙げる人が多いことがわかりました。

残業代の不払い、人手不足、希望した日に有給休暇が取れないなどといった職場でのトラブルの経験者が離職するが傾向にあり、女性では「結婚・出産・育児・介護を理由に辞めるよう言われた」人の 86.8%が、男性では「暴言・暴力・いじめ・嫌がらせ」を受けた人の 49.5%がその後離職しています。

また、離職者には、採用後3カ月間に指示が曖昧なまま放置され、何をしたらよいかわからなかったり、先輩社員と同等の業務を初めから任せられたりした人が多く、歓迎会を開いてもらったり、他事業所・他部署の人に紹介されたりした場合には勤続傾向が高まるようです。

こうしたことから、入社後3カ月程度の職場に対する不満が現れてくる時期や、ある程度仕事に慣れてきた“中だるみ”の時期(入社後半年程度)にフォロー研修を行う会社が多いようです。



また、上司の指導や支援についての満足度に関する調査では、「仕事のやり方について助言してくれる」「仕事に必要な知識を提供してくれる」「現在の仕事について相談に乗ってくれる」といった点について、部下の満足度が高い結果となっています。

コンプライアンスとともに上司や先輩社員からコミュニケーションをとることが大切ですが、率先して進めることができる“場”を作ることが重要な経営課題の1つと言えるでしょう。